

ソラコム、スズキのIoT実証を支援 多目的電動台車「MITRA」が2025国際ロボット展に参考出展

事業化を見据えた電動モビリティのサービス開発をIoTでサポート

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 玉川 憲)は、スズキ株式会社(本社:静岡県浜松市、代表取締役社長 鈴木 俊宏、以下 スズキ)が開発を進める多目的電動台車「MITRA」が、2025年12月3日から開催される「2025国際ロボット展/ iREX2025」(主催:一般社団法人 日本ロボット工業会、日刊工業新聞社)に参考出展されることをお知らせします。



MITRAは、スズキが長年にわたり電動車いすの開発で培ってきた走破性や安定性などの技術を活かし、多様なロボットの足回りとして活用できることを目指した開発中の電動ユニットです。MITRAにパートナー企業が自律走行やAIなどの技術を組み合わせることで、物流、農業、土木建設といった様々な分野でロボットによる課題解決ができるよう取り組んでいます。

今回のMITRAの展示では、悪路コースを難なく走破する試作機の走行をご覧いただけます。加えて、リニア設備検査ロボット、果樹園での作物センシングロボット、工事従事者を危険から守る情報表示ロボット、自動配送ロボットなど、7つのパートナー企業との取り組み内容や実機を紹介し、多彩なロボットたちの仕様や特長をご覧いただけます。

パートナー企業との取り組みとロボットの詳細はスズキのプレスリリースをご覧ください。

<スズキ株式会社のプレスリリース>
[スズキ、「2025国際ロボット展」に出展](#)

ソラコムは、MITRAにおける通信およびデータ活用の実証実験で協業しており、電動ユニットに通信モジュールとIoTプラットフォームSORACOMを活用しています。これにより、リアルタイムで車両の稼働状況やGPS位置情報をクラウドに連携し、稼働データをもとにした可視化や遠隔サポート、メンテナンス支援、将来の製品開発への活用など、モビリティサービスの高度化に向けた取り組みを進めています。

スズキとソラコムは、2024年2月にモビリティサービス分野におけるIoT技術の活用に関する合意書を締結しており、今回の展示はその協業の一環としての取り組みを紹介するものです。両社は、持続可能な社会の実現に向けて、人々の生活や産業を支える新たなモビリティサービスの創出を目指し、技術実証と事業化の検討を引き続き進めてまいります。

「2025 国際ロボット展」は、2025年12月3日から12月5日まで東京ビッグサイトにて開催されます。<https://irex.nikkan.co.jp/>

ソラコムについて

AI/IoTプラットフォームSORACOMは、世界213の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト <https://soracom.com>

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報
担当:田渕
pr@soracom.jp